

にしかわ文代と春日を語る会

あなたの声がまちづくり



春日市の主役は市民

ご挨拶

—2期目の議員として思うこと Part2—

ふーみん
春日市市議会議員
西川 文代
通信

昨年2020年はこれまで経験したことのない大変な1年となりました。振り返れば2月上旬『にしかわ文代と春日を語る会新春のつどい』を無事に終え、「さあこれから、2期目2年目のスタート!!住みよさ・働きやすさ九州NO1都市を目指し一つひとつ取り組んでいこう」と意気込んでいた矢先、新型コロナウイルス感染症の拡大がはじまりその対応に追われることになりました。

私は、新型コロナウイルス感染拡大当初から「市民生活がある限り、議会は不要不急ではない、有事である今きちんと議論し、執行部への確認や要望は必須である」とのスタンスで、議員としてできる限りの活動を継続してきました。2期目1年目に学んだローカルマニフェスト推進連盟や、所属する複数の議員ネットワーク組織によるZOOM研修や交流で、熱心な有志議員同士の情報交換が大変役にたちました。

1年以上経過しました現在、残念ながらワクチン接種はなかなか進んでいない状況です。このような時であるからこそ、お一人お一人が、生活や仕事の中で前向きにできることを考え実行できるように、さらに、お互いに連携協力できるように、明るく元気に暮らせるまちづくりを進めるため行動していきます。

『あなたの声からまちづくり』『春日市の主役は市民』、不変の信条、信念を持ち、皆さまの声を聴く活動、それを市政に繋ぐ活動に努めてまいります。より一層のご支援ご鞭撻と、率直なご意見をお願いいたします。

一般質問項目と概要 <2期目2年間2019.6～2021.3定例会>

1期目分はホームページのLetter vol6の裏面・活動・実績をご覧ください。

2019.6

協働のまちづくり推進について

「協働のまちづくり」の手法や方向性が見える化し目標を共有して、多様な主体との協働を推進していくためには「協働のまちづくりを推進する条例」が必要と提言。市民に分かりやすく明文化する必要性は認識している、と確認しているが、その在り方を確認。→ブランドイメージ「みんなで春をつくろう」との回答。第6次総合計画にも協働が明記される。



2019.9

春日市の子育て施策充実の方向性について

待機児童が解消されていない理由は、その7割を占める1歳未満児の需要に対応出来ていないためである。対応する必要性を提言。直営保育所の役割も確認。→年齢の偏りによる対応や保育士の確保を行う。直営保育所は保育行政のリーダー的役割を担うと回答。



2019.12

春日市の保育と子育て支援のグランドデザインについて

直営の須玖保育所を財政上の問題から公私連携型保育所に変更するタイミングであり、また、学童保育指定管理者変更に伴い当事者から不安の声があるため、それら保育のグランドデザイン(長期計画)を示すべきと提言。



2020.3

新型コロナウイルス感染拡大により取り下げ一般質問開催なし。

取り下げた内容は以下の通り
春日市の男女共同参画推進について
春日市役所内の202030達成に向けた進捗と男性の育児休暇の取得の状況を確認。中学生制服の多様性への配慮を要望。

2020.6

保育や教育施設等への指定管理者制度導入について

学童保育指定管理者の変更の際に、引継や支援員や補助員の配置に課題ありとの現場の切実な声を受け、改善のため、リーダー支援員の配置状況、学校の教室を使用し密を避けるなど、感染防止策等を確認。

仕様書、協定書、指定管理者選定方法、そのスケジュールの見直し、評価委員会の在り方等、市民の意見を取り入れる改善を提言。



2020.9

男女共同参画推進について

1期目一般質問において春日市役所女性管理職登用について202030の数値目標を計画策定時に設定することを要望し盛り込まれたため、現状を確認し、部長職(現状1名)への女性登用増加の必要性を意思決定の多様性という観点から提言。中学校制服の多様性への配慮の必要性も提言。



春日市いのちを支える自殺対策について

コロナ禍にあり自殺に追い込まれる要因が増大する中、最大限に注意を払っていく必要性を提言。